



否定文. 1

名前 _____

問. 次の日本語の意味を表すように、()に入る英単語を答えよ。

説明 否定文は、「そうではない」のように物事を否定するときに使います。

be動詞を使った文では、「am not」のように、be動詞の後にnotを付します。

「are not」は「aren't」、「is not」は「isn't」に短縮することができます。

- あなたは、生徒ではありません。
() () () a student.
- それは、ペンではありません。
() () () a pen.
- あなたは、サッカー選手ではありません。
() () () a soccer player.
- これは、あなたのペンではありません。
() () () your pen.
- 私は、教師ではありません。
() () () a teacher.
- 私は、子どもではありません。
() () () a child.
- あなたは、私のいとこではありません。
() () () my cousin.
- あれは、じゃがいもではありません。
() () a potato.
- あなたは、鳥ではありません。
() () a bird.
- あれは、卵ではありません。
() () an egg.
- これは、りんごではありません。
() () an apple.
- 私は、野球選手ではありません。
() () () a baseball player.